

家畜衛生だより

流行シーズン突入

高病原性鳥インフルエンザ続発！



国内の家きん農場において、既に今シーズン6事例・約208万羽の発生がありました。昨シーズンと比べると2週間早まって発生しており、国内環境中のウィルス濃度が高まっていると考えられます。

発生場所		発生日	飼養羽数
①	岡山県倉敷市	10月28日	約17万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)
②	北海道厚真町	10月28日	約17万羽 (肉用鶏・平飼い)
③	香川県観音寺市	11月1日	約4万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)
④	茨城県かすみがうら市	11月4日	約104万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)
⑤	岡山県倉敷市	11月4日	約51万羽 (採卵鶏・ケージ飼い)
⑥	北海道伊達市	11月7日	約15万羽 (肉用鶏)

鳥インフルエンザに関する最新情報(農林水産省) <https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/>

農場に鳥インフルエンザを入れないために

早期発見・早期通報



人・車両や
野鳥・野生動物を介した
ウィルスの侵入防止



防鳥ネットの再点検



鶏舎周辺の石灰散布など
消毒の徹底

